



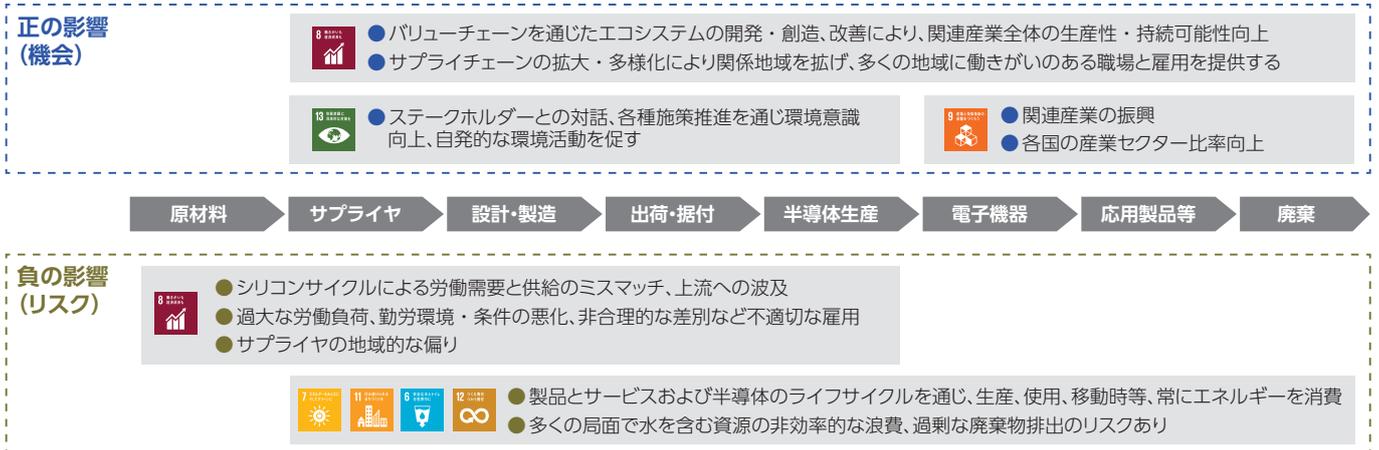
KOKUSAI ELECTRICの価値創造

ステークホルダーとの協働によりエコシステムを開発・創造し、持続可能な未来を切り拓きます。

SDGs*が示す当社の事業改革

半導体のバリューチェーンに生ずるリスクと機会

当社グループが扱う半導体製造装置、それが生み出す半導体のライフサイクルは、社会の持続可能な発展に向け、大きな機会(チャンス)をもたらしますが、一方で負の影響を生むリスクもあります。



*SDGs (Sustainable Development Goals) … 持続可能な開発目標。2030年までに達成すべき17のゴールと、政府や企業が緊急に取り組むための169のターゲットを掲げています。

SDGsが示す当社事業改革の方向

当社グループのリスクと機会に関わるSDGsの内容を掘り下げ、当社が進む方向と、そのための事業改革を検討しました。社会のニーズから事業目標を導く、「アウトサイド・イン・アプローチ」です。

さらに、進捗の評価や具体的な目標設定のために、定量的な指標、KPI (Key Performance Indicator) を設定、進捗管理に用い、社外に開示可能なものは、この報告書などで積極的に公開します。

関連するSDGs	めざす方向	KPI	事業改革
9: 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	関係する各国における機器、資材やサービスの開発・生産、また当該地域の産業化へ貢献 / 生産性の大幅な改善	・連結営業利益率(非公開) ・地域別売上高 ・地域別調達額(非公開)、 ・障がい者雇用率など各種ダイバーシティ指標(一部非公開)	バリューチェーンの連携/連携強化
7: 全ての人の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	半導体の製造に関わる包摂的かつ持続可能なエコシステムを構築		
8: 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	サプライヤー、労働組合、地方団体等との協働、内部通報者を保護する方針、手続き、苦情処理メカニズムおよび支援体制を確立する。	・サプライヤーの内部通報制度普及率(非公開)	ステークホルダーとの協働
7: 全ての人の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	バリューチェーンの連携強化を通じ、半導体関連産業、電子機器産業、また電子機器利用時のエネルギー効率・水使用効率など、資源利用効率を改善し、環境負荷を抑制する。	・連結売上高 ・バリューチェーンを通じた温室効果ガス排出量など上流・下流を含む環境指標(一部非公開) ・販売先および調達先との連携実績(原則非公開)	
6: 全ての人の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	製品のライフサイクルでの廃棄物削減 / 環境負荷抑制	・化学物質使用量・排出量原単位 ・水使用 / 排出量原単位、同リサイクル率 ・バリューチェーンを通じた上記原単位など環境指標の推計(非公開)	環境負荷軽減
12: 持続可能な生産消費形態を確保する	ゼロエミッションの推進	・埋め立て処分量	
11: 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	地域の自然や文化保護、観光や人材育成など各地域の活性化に貢献するボランティア活動を推奨	・ボランティア活動参加者延べ人数	サステナビリティに向けた従業員啓発
13: 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	気候変動の緩和、適応、影響軽減および早期警戒に関する従業員研修	・研修受講者比率	

事業改革によるSDGs達成へのロードマップ

2030年までに持続可能な社会を実現するというSDGsから、当社グループの価値創造の方向を見定め、事業改革に取り組むことを中長期的な事業戦略の骨子としました。



当社が重要と考えること

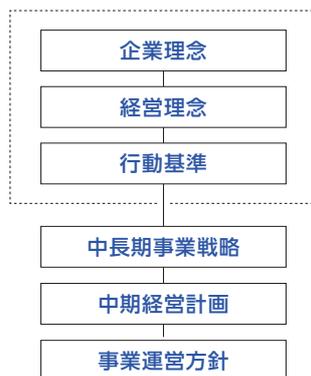
当社の経営とCSR

当社は、そのグループ会社とともに事業活動のすべてを通じて社会の信頼・期待に応えることがCSR (Corporate Social Responsibility; 企業の社会的責任) であると考えます。

当社グループのあるべき姿、存在意義を示す企業理念、会社経営の基軸、当社グループの意志と価値観を示す経営理念、および事業活動を進める上で重要と考えることを示す行動基準を決めるにあたり、当社グループへの社会の期待と経営上の重要性との両面について検討・議論し、決定しました。

「企業理念、経営理念」に示した基本理念を、「行動基準」に示す活動の積み重ねにより実現することをCSR方針としています。この上で、前述の通り中長期的な事業戦略に基づき、中期経営計画を策定、KPIを定めて進捗を管理するとともに、年度ごとに定める事業運営方針により、重点施策と心構えにつき全グループで共有しています。

これらCSRの実践・推進状況を、本報告書と社外向けホームページにより公表し、ステークホルダーの皆様と広く当社の経営について対話する材料とします。



品質へのこだわり

当社グループは、基本と正道に則り、お客様の視点で、自ら考え、行動し、各プロセスにおける継続的な改善活動に取り組んでいます。

その具体的な取り組みと体制の強化について、当社のウェブサイトにて報告しています。

当社品質への取り組み報告サイト

<https://www.kokusai-electric.com/csr/quality/>

KOKUSAI ELECTRIC 品質へのこだわり 🔍

企業理念、経営理念および行動基準

企業理念

KOKUSAI ELECTRIC グループは、安全・快適で活力ある、持続可能な社会の実現をめざし、技術と対話で価値を創造します。

経営理念

KOKUSAI ELECTRIC グループは、

1. (社会課題への取り組み) ものづくりを究めて、社会課題の解決に有用な価値をお客様とともに創出します。
2. (協働による最適化) ステークホルダーとの協働により、世界に先駆けて豊かで持続可能な未来を切り拓くエコシステムを開発・創造します。
3. (人財の尊重と育成) 多様な人財を尊重し、能力を高め発揮できる機会と場を提供します。
4. (基本と正道) 人権を尊重し、法と倫理を遵守し、社会から尊敬される清廉な企業文化をつくります。

※「ものづくり」は、製品・サービスの開発・提供を中心とした、KOKUSAI ELECTRIC グループの創造的な活動すべてを指します。

行動基準

KOKUSAI ELECTRIC グループは、企業理念を実現するために、経営理念に則り、以下の行動基準を定め周知徹底するとともに実効あるガバナンスを構築します。

1. イノベーションを通じ、安全性・品質および環境に配慮して社会的に有用な製品・サービスを開発提供し、事業の発展と社会課題の解決を図ります。
2. 高い倫理観を持って、公正かつ自由な競争ならびに適正な取引、責任ある調達を行い、国際ルール、国内外の法令とその精神を遵守します。
3. 従業員に研鑽と成長の機会を提供し、多様性、人格、個性を尊重する働き方を実現するとともに、働きがいのある、安全で健康的な職場を確保します。
4. 企業情報、製品・サービスに関する情報を積極的、効果的、公正かつ誠実に開示し、KOKUSAI ELECTRIC グループに関わる幅広いステークホルダーと建設的な対話を行い、企業価値の創出と向上を図ります。
5. 環境問題は人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件として、全地球的な環境、地域生活環境、生物多様性の保全・向上に努めます。
6. すべての人々の人権を尊重する経営を行います。
7. 「良き企業市民」として積極的に社会に参画し、その発展に貢献します。
8. 経営・技術情報、個人情報・顧客情報等、機密情報の保全・管理を徹底し、またテロ、サイバー攻撃、反社会的勢力の行動、自然災害等に備え、組織的な危機管理を徹底します。
9. 国際的な平和および安全の維持に貢献するため、貿易関連法規を遵守します。
10. この行動基準の精神に基づく行動をサプライチェーンにも促します。この行動基準の精神に反し社会からの信頼を失う事態が発生した時には、経営者自ら率先して問題解決、原因究明、再発防止等に努め、その責任を果たします。